

本校は、本年度、創立57年目を迎える歴史と伝統のある特別支援学校です。昭和40年4月、県内初の肢体不自由を対象とした養護学校として設置され、以来、本県の肢体不自由教育を主導してきました。平成25年度に現在の場所に新築移転し、それと同時に、知的障害のある児童生徒の受け入れを開始し、知肢併置の特別支援学校となりました。

令和4年度は小学部33人、中学部26人、高等部35人の新入生を迎え、全校児童生徒362人でスタートしました。本年度も「明るく・強く・たくましく」の校訓のもと、児童生徒一人一人が自立と社会参加を目指し、自分の力を精一杯、発揮しながら元気よく学んでいます。

本年度は、特に、各学部の学習指導要領の改訂を受けて、これまで見直してきた教育課程の組織的、計画的な実施と、その評価、改善を通して、教育活動の充実を更に図っていくとともに、日々の授業においては、ICT機器の積極的な活用を通して、「分かりやすい授業実践」及び「児童生徒の得意な面を伸ばし将来の豊かな生活につながること」を目指していきたいと考えています。

本校は、知肢併置校としての9年間の取組において、確固たる存在価値・財産を築きつつあります。本年度は、それらを確実に維持し、授業力、事業力、発信力の3つの力を発揮しながら、更なる進化を目指し取り組んでまいります。地域や関係機関の皆様には、今後とも本校教育活動への御理解と御支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

校 長 迫 田 博 幸